

アルインコ DCR-PRO 登録局シリーズ共通クローンユーティリティ取扱説明書

本プログラムはフリーソフトウェアです。ソフトウェア（以下、ソフト）を利用するにあたってユーザー様は利用規約にご同意いただいたものと致します。

<https://www.alinco.co.jp/files/user/electron/dl/softwareagreement.pdf>

ご同意いただけないときはソフトのご利用はお控えください。

[クローンユーティリティについて]

クローンユーティリティを使うと対応のデジタル簡易無線に手動で行う設定をPCの画面上で行い、その設定内容を保存したり、別の個体にクローンしたりすることができます。またセキュリティのための暗証番号設定など、無線機側では設定できない項目も追加されます。まず製品に付属する取扱説明書を読みながら一通り無線機の操作を行い、どのような機能なのかあらかじめ理解してからお使いください。ここでは各機能についての個別の説明はしていません。

このクローンユーティリティが対応する製品（以下、無線機）には、プログラミング（以下、ファームウェア）が異なるバージョンが存在します。同じ機種同士であればバージョンに関係なくお使いになれますが、ファームウェアがサポートしない機能設定等は反映されません。ファームウェア更新は、アフターサービスとして往復運賃のみ実費をご負担いただければ無償でご提供します。詳細は本書の巻末をご覧ください。

[必要なもの]

- ・電源が入る状態の DCR-PRO 無線機
- ・ Windows 10/11 OS を搭載したパソコン

※軽い単機能ソフトですからCPUやメモリーに特別な指定はありません。Win10 以前のOSは動作保証していません。

- ・ PC 接続ケーブル
 - ・ 車載機 : ERW-7
 - ・ ハンディ機 : ERW-23 または ERW-7+EDS-14 変換ケーブル

※PC の USB ポートに接続して、PC のモニターに「準備ができました。」表示が出なければ VCP ドライバーのインストールが必要です。FTDI 社 HP :

[https://ftdichip.com/drivers/vcp-drivers/Processor Architecture](https://ftdichip.com/drivers/vcp-drivers/Processor_Architecture) 欄から最適なものをお選びください。

[ソフトのインストール、起動と初期設定]

[インストールとアンインストール]

弊社HPより「DCR2GCloneUtilityver. * * *」zip（* * *の部分にはバージョン番号に相当する数字が入ります。）を任意の場所に解凍します。フォルダにある setup.exe を実行して、指示にしたがって管理者権限でインストールしてください。アンインストールもウィンドウズの「プログラムと機能」メニューから、同名のファイルを選んで通常のソフト同様に行えます。ソフトの更新の際は、まず古いプログラムを削除してから新しいものをインストールしてください。

[接続]

- * 必ずクローンユーティリティを起動する前に行ってください。
- * 無線機の電源は切っておきます。

[DR-車載/基地局]

- ・ ERW-7 をパソコンの USB 端子に接続し、もう一方のプラグを無線機背面の外部SPジャックに接続します。無線機の電源を入れます。

[DJ-ハンディ]

- ・ ERW-23 のねじ込みプラグを無線機上部のイヤホンマイク用ジャックに、しっかり止まるまでねじ込みます。
- ・ EDS-14 を使用される時は、ねじ込みプラグを無線機上部のイヤホンマイク用ジャックにしっかり止まるまでねじ込んだ後、ERW-7 をパソコンの USB 端子に接続し、もう一方のプラグを EDS-14 に付属の変換アダプタを使用して小さいほう(Φ2.5mm)のジャックに接続します。

無線機の電源を入れます。

[ソフトの起動]

デスクトップに生成されるショートカット「DCR2GCloneUtilityver. x.xx」をダブルクリックします。オープニング画面が表示されてクローンユーティリティが起動します。

[COM ポートの確認]

Windows のデバイスマネージャーを開いて、「ポート (COM と LPT)」の項目にある「USB Serial Port」の後にある COM* の番号を控えます。クローンユーティリティの画面右端にある[COM1]のプルダウンで同じポート番号を選択します。ケーブルが PC に正しく接続さ

れているのに USB Serial Port がデバイスマネージャーに表示されないときは、PC 接続ケーブルの VCP ドライバーが正しくインストールされていません。

[ソフトの操作について]

無線機の電源が入り、接続ケーブルが正しく接続され、ユーティリティが起動していることを確認します。

画面右端の◎S70◎M60…の機種名セレクトサークルにチェックを入れて編集する機種を選択します。機種によってセットモードタブの内容が変わり、搭載していない機能はグレーアウトします。

※実際のデータの編集をする前に、本書に従って実際には使わない各種機能や文字入力なども含めて適当にプログラムを行い、ソフトの操作、データの読み書き、データがどのように反映されるか確認してください。後述の方法で初期化（リセット）できます。

・無線機のデータを読み込む

画面の右端、COM設定の下にある「無線機から設定を読みだす」をクリックします。無線機の画面に「通信モード」が表示され、ユーティリティの右上の緑のプログレスバーで進行状態が確認できます。現在の無線機の設定状態がユーティリティに読み込まれます。無線機の電源を切るか、次の書き込み動作をすれば無線機の「通信モード」表示は消えます。

・編集したデータを書き込む

ユーティリティ左上の「無線機との通信」から「無線機に設定を書き込む」を選んでクリックすると無線機の画面に「通信モード」が表示され、ユーティリティの右上の緑のプログレスバーで進行状態が確認できます。書き込みが終わると自動的に無線機が再起動して新しい設定状態になります。

・データを保存する、開く

ユーティリティ左上の「ファイル」から「保存」を選んで任意の名前を付けて、パソコン上の任意の場所に保存します。拡張子.S70 や.M60 のようなファイルが生成されます。同じく「ファイル」の「開く」から生成された任意のファイルを選んで「開く」をクリックするとそのデータをソフトに取り込んで、書き込みや編集ができます。

・編集画面を初期化（リセット）する

ユーティリティの全ての設定項目を初期状態に戻したいときは、ユーティリティ右上隅のXをクリックして終了、改めてユーティリティを起動します。

この初期状態で機種と COM ポート番号だけを合わせて書き込みすると無線機は工場出荷状態まで初期化されます。

・ 終了する

ユーティリティ右上隅のXをクリックして終了します。保存していないデータは失われます。終了する際に「データを保存しますか」のような警告は出ませんのでご注意ください。無線機の電源を切り、ケーブルを外します。

「チャンネル毎の設定/ID ネーム/ショートメッセージ/オープニング画面」タブについて

①全てのチャンネルに同じユーザーコード、秘話コード、秘話タイプと送信出力を設定したいときは画面中央あたりの「CH通信設定」ボタンで「全CHで共通設定」を選びます。ユーザーコード、秘話コード、秘話タイプと送信出力のボタンが有効になり、設定値が選べるようになります。

②チャンネルごとに別々の設定をするときは「CH通信設定」で「各チャンネルで個別設定」を選びます。共通設定のボタンは無効になりグレースアウトします。画面上部のテーブルで個別にチャンネルデータを編集します。

・ Name を除く項目は、フレーム上の「すべてのチャンネルのデータを一括変更する」にチェックをしておけば、すべてのチャンネルに同じ設定が反映されます。途中で一括にしたくなったときは、チェックを入れてから同一にしたい値を改めて1度選びます。

・ 1 : 編集したいCH番号をクリックして選択します。Name はJIS標準の漢字を含む文字数字記号が入力できます。使える文字数は操作画面に記載されています。

・ 2 : pow は送信出力（パワー）です。プルダウンから任意の値を選びます。

・ 3 : uc はユーザーコードです。プルダウンから任意の値を選びます。

・ 4 : scrCode は秘話コードです。プルダウンから任意の値を選びます。

・ 5 : scrType は強化秘話コードです。プルダウンから任意の値を選びます。

・ 6 : skip はチャンネルスキャン時にそのチャンネルをスキャンする(オフ)、スキャンしない(オン=スキップ)、が選べます。

③ IDのテーブル

右端のスクロールバーを上下させるとID番号 001~200 とグループ番号 GRP01~10 のネームタグが編集できます。使える文字数は操作画面に記載されています。

④ ショートメッセージ欄

ショートメッセージ機能を使うときのメッセージが編集できます。使える文字数は操作画

面に記載されています。

⑤オープニング画面

無線機の電源を入れたときに、任意の文字を最多 4 行まで画面に表示できます。使える文字数は操作画面に記載されています。

「セットモード/現在のチャンネル/キーロック」タブについて

無線機のセットモード項目と同じ設定が、プルダウンから任意の値を選ぶことで可能になります。選んだ設定値は全てのチャンネルに反映されます。チャンネルごとに個別設定することはできません。拡張セットモード項目は、編集のみと操作を別にできるようになっています。最後の「拡張セットモード」を「有効」にすると操作できるようになります。

ショックセンサー関連項目については、弊社で実験して「マンダウン機能」（倒れて動かない状態が一定時間続いたら発報）に適すると思われる状態に初期設定しています。なお、センサー部品の精度のバラツキで、クローンしても全ての個体が同じ状態で発報しないことが有ります。運用に障害がある時は個体ごとに数値を微調整してください。発報したい角度まで傾けても動作しないときは「傾斜判定角度」の数値を小さく、逆の場合は大きくします。

【無線機に実装されていない、このユティリティソフト専用の機能について】

* 「セットモード～～」タブ

1：リセット禁止

オンを選ぶと誤って無線機をリセットして全項目が初期化されるのを防げます。管理者が無線機の設定をしないユーザーに貸与する業務用途に必須の項目です。

2：現在のチャンネル（現チャンネル）

データを読み込んだ時に、無線機に設定されていたチャンネル番号が読み込まれます。「キーロック状態」をオンにするとき、違うチャンネルでキーロックしたければここで変更できます。キーロック状態がオフなら編集後 1 度だけこの設定のチャンネル番号で起動しますが、その後は反映されなくなります。

3：「セットモードへのアクセス禁止」

管理者が最適にした設定を、ユーザーが勝手に変更できなくするために使います。但し音質やビープ、ガイダンスなど、ユーザー個人の好みに合わせて細かくカスタマイズできたほうが便利な場合があります。そのときは次の項目の「セットモードに入るためのPIN」をお

使ってください。管理者がパソコンなしでセットモードに入れるようになります。

* 「チャンネル毎の設定～～」タブ

1：起動時のPIN設定 (PersonalIDNumber)

電源を入れたときに暗証番号を入力しないと運用モードに入れないようにするには「起動PINと何回間違ったらロックされるか」にチェックを入れます。

PINは4桁の数字で、左から機能キー、▼キー、▲キー、戻るキーを、PINに設定した回数だけ押して、最後にPTTキー押下で確定します。0は操作不要です。

設定後、機能キーを押すと「キーを押して暗証番号を入れる」旨のメッセージが出ます。キーを押下すると液晶に番号が表示されます。

暗証番号の例：

0000＝PTTキーを1回押す

0005＝戻るキーを5回押してPTT押下

1111＝機能キー、▼キー、▲キー、戻るキーを1回ずつ押してPTT押下

1203＝「機能」を1回、「▼」を2回、「戻る」を3回押してPTT押下

2：セットモードに入るためのPIN

セットモードに入るときの暗証番号を上記同様に設定することができます。パソコンが不要になるので、現場でのメンテナンス管理がしやすくなります。

暗証番号忘れとロックが掛かったときは、クローンユーティリティで設定を再書き込み（上書き）するしか解除方法はありません。リセットしても暗証番号は解除できません。また、秘話番号などの設定を第三者に見られないように、この状態では読み出しはできなくしています。本来の業務用無線機では盗難対策と悪用防止のため、上書きのような簡単な方法ではセキュリティ解除をできなくしますが、登録局なので少し甘くしています。

[エラーについて]

無線機の電源を入れていない、COM番号や機種設定が合っていない、ケーブル不良（切れている、正しく装着されていない、ドライバソフトが不正）のときはERRORが表示されます。

[無線機のファームウェア更新への対応について]

※ 以下の情報は 2020 年ごろまでに発売の、増波前の DR-DPM60 と DJ-DPS70 に関するものです。近年、新品でお求めいただいた製品や、これら以外の DCR-PRO シリーズ製品は対象外です。DJ-DPS70 と S71, DJ-DPS70 と S70E、のようにワイヤレスマイク対応品や増波されたものはそれぞれ別機種です。

【ご注意】

- ・ DR-DPM60 の初期ロットには、ソフトにある項目の一部が存在しないものがあります。編集してもエラーにはなりません、その設定は反映されません。
- ・ 追加機能のセットモード項目が出てこない DJ-DPS70 は、運賃のみ往復自己負担していただければ、最新の仕様になるようにファームウェアの更新サービスが無償でご提供します。製品保証の有無は問いませんが、更新後は最低限の動作確認のみ行い、有償メンテナンス時のような細かい点検調整は行いません。
- ・ これらの更新はバージョンの違いが通信の障害にならないので、修理や有償メンテナンスでお預かりした個体には自動的に行いますが、不具合の修正では無いため修理内容報告書にはその旨を記載しないことがあります。

更新依頼品の宛先：

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 4 丁目 4-9

淀屋橋ダイビル 13F

アルインコ電子サービスセンター ファームウェア係

電話 0120-464-007

- ・ 無線機無線機だけをお送りください。
- ・ 製品の化粧箱は使わず、電池やアンテナなど一切の付属品も送らないでください。
- ・ メモに「ファームウェア更新希望」と、返却先のお名前、ご住所、お電話番号、運賃着払いの受け取りがしやすい曜日、時間指定（到着日指定は不可）を記載して、エアキャップシートなどで無線機を養生して、しっかりした箱に入れてお送りください。1～5台であれば5営業日+往復の運送時間以内で対応ができます。
- ・ 多数を一度に更新されたいときは、予め上記のサービスセンターのフリーダイヤルで、納期についてお問い合わせください。（平日 10～12時、13～17時）

【ソフトウェアのバグについて】

OS のバージョンと無線機の機種名を明示してお問い合わせフォームからご連絡ください。

<https://www.alinco.co.jp/contact/form/id=7>

アルインコ（株）電子事業部 FNFG-EF 82ch 対応